

大使からの活動報告：8月

(当地主要紙による両国外交 80 周年に関する特集記事他)

2015年8月24日

在グアテマラ日本大使館
特命全権大使 川原 英一



◆宮川ピアニストによるコンサート

日本との外交関係樹立 80 周年交流行事の一環として、中米各国を訪問中のピアニスト宮川久美さんが当国を訪問され、国立音楽院での



ピアノレッスン、当地オーストリア校での高校生を対象

としたミニ・リサイタル (3 日午前) そして 8 月 4 日夜のグアテマラ市内メキシコ文化センターでのリサイタル公演がありました (国際交流基金が渡航経費を助成)。

特に、4 日夜のピアノ・コンサートは、当地の方々に大変好評でした。当地では、海外プロのピアノ・コンサートの機会が大変に少なく、また、今回のようにクラシックから、日本・グアテマラ・メキシコの作曲家による現代音楽まで様々なジャンルのピアノ曲演奏を堪能できる機会はないので、

大変に喜ばれました。予定ピアノ曲演奏終了時には、観客全員による 3 分間のスタンディング・オベーションがあり、アンコール曲演奏後もサインを求める当地の方々が多数おられました。このリサイタルの様子は、当地主要紙でも大きく取り上げられました。

宮川ピアニストには斉藤雅顕・調律師も同行されていました。当地にあるピアノは、調律されないまま放置されていることが多く、宮川ピアニストが演奏前に調律をお願いできるグアテマラの方は、国立音楽院所属のお一人しかいないこと、今回は、その調律師に健康上の問題があり、調律をお願いできない事情があったこともお聞きしました。斉藤さんもこれまで何回もグアテマラにおいで頂いたことがあり、大統領官邸のピアノの調律も頼まれて行ったところ、その際、シュタインウェイのピアノには世界的に著名な音楽家の名前もサインされていたことなども伺いました。



◆新たに活動開始する協力隊員 9 名の来訪



8月6日、当地での語学研修を終えてこれから各地で活動を開始する9名の協力隊員の方々に、大使館事務所に御挨拶にお越し頂きました。小学校での算数教育の指導隊員、環境教育隊員、野球指導隊員、助産師、栄養士、特別養護教員、理学療法士、そして野菜の栽培指導の方々です。これから2年間のご活躍が大いに注目されます。

■当地での国際インプラント学会日本人歯科医の研修プログラム実施

今月、当国私立フランシスコ・マロキン大学 (UFM) 歯学部施設において、ニューヨーク大学 (NYU) 歯学部による国際インプラント学会 (ICOI) 短期研修プログラムが実施されています。UFM アルファロ・ラミロ歯学部長から依頼で、8月7日夕、日本人歯科医 38 名の研修修了式に出席し、当方の挨拶、その後、歯科医の方々との懇談機会がありました。北は北海道、南は鹿児島まで、日本各地から来られた歯科医の先生方は、ここ数日間、時差に悩まされつつ、治療研修・カンファレンスなどをこなされていたことを伺いました。



歯科医の皆様は、猛暑の日本から当地に来てみて、グアテマラの気候が良いことに驚いた様子でした。御夫妻で来られた医師の方は、今度プライベートで当国にきて、ゆっくりと当国に滞在してみたいと語



っておられました。

当方の挨拶の中で、今年が、日本とグアテマラ及び他の中米 4 カ国との外交関係樹立 80 周年にあたり、各種の交流事業活動を推進していること、昨年 10 月には秋篠宮同妃両殿下が当国訪問し、UFM 視察も行われたこと、両国の大学間の交流が進みつつあることなど御紹介を致しました。

この研修プログラムは昨年から当地 UFM で開始されたものですが、NYU 関係者からは、UFM では非常に良い研修が出来ており、今後も継続されると伺いました。

◎協力隊員の活動発表と当地紙記者とのインタビュー

8月8日(土)午前、首都グアテマラ市の JICA 事務所(前田英男所長)で約 40 名の協力隊員の集まりがあり、一部隊員による活動報告が行われました。また右に先立





つ 8 月 7 日午後、当大使館事務所での当地主要紙記者による一部の協力隊員（算数教育、シャーガス病対策、妊産婦支援）へのインタビューが行われました（前頁末尾の写真）。

現在、42 名の協力隊員が、全国 14 県の自治体で、地元の方々と当国民の生活水準向上のための様々な活動・取り組みを行っており、良い成果も得られています。

8 月 8 日午前の隊員 8 名による中間発表（栄養改善・健康向上、野菜作物栽培、ゴミ処理、スポーツなどの各分野での協力活動状況）は、日頃の隊員の活動について、自らの創意と工夫で地域の住民との組織的な取り組み、情報共有・連携した活動を進めていることがわかる、大変に印象深い内容でした。

日本とグアテマラ外交関係樹立 80 周年の機会に、こうした地方での協力隊員による様々な活躍ぶりや良い成果について、当国メディアを通じ、より多くの方々に知って頂くことは大切と考えています。



◆統一選挙キャンペーンの実施

4 年に一度の大統領・副大統領、国会議員、中米議会議員、市長・市会議員選出のための選挙キャンペーンが実施中であり、9 月 6 日に投票を実施予定です。なお、大統領・副大統領の再選は、憲法で禁止されていますので、4 年毎に国家元首が交代します。今回の選挙では、14 組の大統領・副大統領候補者の中から、新大統領・副大統領が選出されます。

報道によれば、大統領・副大統領については、1 回目投票で過半数を得る候補者がいないと予想されており、10 月 25 日に予定される 2 回目投票で決着するものと思います。

統一選挙の公示は、5 月 2 日にあり、選挙キャンペーンが開始されたのですが、同期間中には、税関行政に関わる政府高官の汚職事件の捜査が開始され、また、同事件への現職の副大統領の関与の可能性が報じられ、その後も、社会保険庁（IGSS）の製薬会社との不正契約事件、官房長官の不動産取得にからむスキャンダルなどが相次いで報じられたため、市民による抗議活動も起きていま



す。また、各政党の不正な政治献金を摘発するとの国連機関（C I C I G）代表による発言も大きく報じられました。こうしたことから、現行の選挙制度・候補者に対する批判も高まっています。当地主要紙による 7 月下旬に実施した世論調査結果が、8 月 10 日に公表されています（左写真）。 今後も紆余曲折が予想され、大統領については、どの候補者が、2 回目投票まで残るのかは、不透明な状況です。今後の動きが注目されます。

◎80 周年事業活動広報パンフ第 2 弾

8 月中旬、日本とグアテマラの外交関係樹立 80 周年記念事業活動に関する広報パンフ（西語版）第二弾が出来上がり、当館の HP に掲載されました。これまでに実施された各種の両国間の交流活動行事について、大変にビジュアルな内容となっております。下記サイトにて是非ご覧ください。

(http://www.gt.emb-japan.go.jp/Amistad_Japon_SICA_2015/Folleto_del_80_Aniversario2.pdf)

◆当地主要紙による両国外交 80 周年に関する特集記事

8 月 23 日付 El Periodico 紙日曜版は、日本とグアテマラ外交関係樹立 80 周年に因んだ当方寄稿文及び当館提供の写真を全面的に使用して、「よりよい未来に向けて」と題する特集記事を、同紙の紙面 2 頁を割いて掲載してくれました。外交 80 周年を記念した当地における様々な交流活動取り組みや最近の両国関係に大きな関心を示された同紙編集長・スタッフのご厚意によるものです。同紙特集記事サイトは以下のとおりです。

<http://elperiodico.com.gt/2015/08/23/domingo/hacia-un-mejor-futuro/>



(了)